

# 桐鈴凜々

4年ぶり開催!

大盛況!

## 八色の森市民まつり

工房とんとん

管理者 牧野謙司

第146号  
2022年11月10日発行  
発行責任者  
社会福祉法人 桐鈴会  
理事長 黒岩秩子  
南魚沼市浦佐5142-1  
電話 025-780-4118  
FAX 025-777-3731  
e-mail info@toureikai.com  
http://www.toureikai.com/

### 桐鈴会の理念

・終のすみかを目指す  
・「迷惑をかけ合える関係」を目指す  
・高齢者、しようがいしや、子どもたちが  
安心して住める地域を創ろう



とても晴れた清々しい10月9日の朝。工房とんとん厨房内では、時間に追われた職員がせわしなく働いています。

4年ぶりに開催される八色の森市民まつりへ、桐鈴会の一員として準備の真最中!各施設からも沢山の職員が応援に駆けつけてくれて、開始時間にはバッチリ商品を完成させてくれました!

久々の市民まつりだけあり、本当に多くの方々が来場され、大賑わいになりました。

たくさん子どもたちによる成果発表、様々な重機や特殊車両、懐かしいミニ4駆、気球まで飛んでいました!

桐鈴会のブースも負けてはいません!当日提供しました、特製トウレイもち豚カレー&ナンともいえないナン、工房とんとん製作のパンや焼菓子

は、飛ぶように売れていき、用意した食数は午前中に完売しました。カレーの評判も上々で、「今まで食べた中でも一番」というご意見まで頂きました。カボチャ、なすが素揚げしてあったのがよかったですか?!

当日までに準備を手伝ってくれた職員、食べて下さった皆さまには、本当に感謝しかありません。

是非、来年も皆さんと共に、桐鈴会を盛り立てて行ければと考えさせる1日になりました。本当にお疲れさまでした。



「八色の森 市民まつり」に、スタッフとして参加させていただきました。

新型コロナウイルス感染拡大後は、桐鈴会としての行事は開催できていなかったり、規模を縮小しての実施のため、こういった形で他の事業所の方と交流できることを懐かしく感じました。

そして、このレベルでの地域行事が開催されるということは、少しずつですが着実にアフターコロナに向かっています。

来年は、より多くの方がご参加できることを願っています。



各施設イベント開催報告!

工房とんとん参加!  
手もんづら市・Mマルシェ  
職業指導員 関 公恵

3年ぶりの手もんづら市(9月17日・18日)、今年度初開催のMマルシェ(23日)に参加しました。

両方とも多くのお客様が来訪し、パン・お菓子や手作りの商品をたくさん購入してくださいました。

感染症の拡大で、イベントや外売りも制約の多い期間が続き、利用者の皆さんは元気にしている?と気にかけて下さる方も多く、とてもありがたい事と感じています。

感染状況に配慮し、また少しずつ地域の皆さまとふれあう機会を増やしていきたいと思いました。



「手もんづら」とは魚沼地方の方言で、「手づくりのもの」ということ。  
「Mマルシェ」とはMから始まるモノがたくさんあることから名づけられたイベントです。



桐鈴会 各施設職員募集中!

現在、お手伝い頂ける方をたくさん募集しております。  
詳しくはコチラまでお気軽にご連絡ください  
社会福祉法人 桐鈴会 ☎025-780-4118

障がい者日中活動支援施設  
工房とんとん  
パート募集  
(パン製作補助)

～短い時間での勤務も可能です～

いちご一会とちぎ大会

第22回 全国障害者スポーツ大会 夢を感動へ。感動を未来へ。2022

先日行われました全国障害者スポーツ大会(10/29～31)に「工房とんとん」所属の大桃春彦さんが新潟県代表として参加してきました。

卓球(精神障害)部門にエントリー!  
結果は、金メダル獲得(リーグ戦全勝)の快挙を成し遂げました!

帰宅後、嬉しい報告に顔を出してくれました。  
引き続き頑張ってもらいたいと思います!



## 「大地の芸術祭を鑑賞しに十日町へ」

グループホームおひさま

世話人 森山小雪

9月11日、おひさまハウスと駅前ハウスの皆さんと一緒に、大地の芸術祭ツアーに行きました。

行きの車中では、BGMのリクエストが何曲もあり、盛り上がりを見せていました。

現地に到着すると、大勢のお客様さんの中に混じり、各々見学しました。高い場所にある自転車に乗ったり、教室の机に絵を描いたり、出口が不思議なトイレに入ったり、最後は草間彌生さんの作品の前で記念撮影をして、盛り沢山の時間でした。



昼食は小嶋屋で、おいしい天ぷらそばなどをいただきました。

ひまわりハウスと駅前ハウスは、

8月28日に大地の芸術祭へ鑑賞しに行きました。



## 後山小学校発表会について

グループホームおひさま 生活支援員 関 真弓

11月1日、夢草堂で後山小学校の演劇の発表会がありました。

私は初めて見させて頂きました。子どもたちが、のびのびとそして堂々と劇を発表していて、とても驚きました。

「本物の宝物」という物語のストーリーは子どもたちで考えて劇を創ったと聞いて、さらに驚きました。ユーモア溢れるストーリーでも面白かったです。

先生から聞いた話では観客が盛り上げてくれたので、子どもたちも気分が上がり、アドリブも入ってノリノリだったそうです。障がいを持っているお子さんもいましたが最後の合唱の時にはくるくると回って踊りだしていました。

鑑賞後、子どもたちの一生懸命な姿を見て涙ぐむ職員もいました。「可愛かったー」「感動した!」との声が聞こえ心打たれるものがありました。

来年もまた後山小学校の演劇を見れることを楽しみにしています。



〈とんとんのパンをお礼に差し上げた加藤百恵さんと受け取る6年生3人〉





# 田辺キクイさん

## ご冥福をお祈り申し上げます

### 鈴懸の皆様へ

#### 姪 溝口春美

22年の長きに渡って、楽しい時を過ごさせていただきありがとうございます。ありがとうございました。

思い起こせば 22年前、まだ柳古新田にて食料品店を営んでいた時、脳梗塞に倒れ高齢者の2人暮らしにとつて介護はむずかしく、夫婦して鈴懸にお世話になる事となりました。

夫(田辺春一)を2017年に見送り、自身も夫と同じ99歳で他界



いたしました。

今はまた一緒に龍谷寺の墓所で仲良く暮らしている事と思っております。とうとうか、また叔父さん(春一)にあれこれ言っているかも? 私たちもいろいろと用事を言いつけられたり、呼びつけられもしましたが、行くと「ごくろう」という一言で全てかたづけける叔母でした。

鈴懸の皆様にも何かとわがままな二人でしたが、何故か憎めない二人でもありました。そしてやさしくもありました。

実家、実家と云っていた叔母も49日の間じゅう里帰りをしたので、心残りなく行けたのではと思っております。

「ここ【すずかけ】が私の家なんだ一番安心できる所」だと語ってほしい、良い余生を送らせていただき本当に親身になって介護してくださり感謝しております。

すずかけの皆様、本当にありがとうございました。そしてご苦労様でした。

### 「キクイさんに

### 思いを馳せて」

#### ケアハウス鈴懸

#### 入居者 上村キヌ子

キクイさんは大崎で春美屋という雑貨や食料品、お酒なんかを売るお店をご夫婦で営んでいて、私も大崎なので目と鼻の先に住んでいた。キクイさんは、いいお家の育ちで穏やかでおとなしくてグチも言わない我慢強い人だったよ。

春一さんが、店のお客さんに強い口調で何か言うとなしなめていたっけね。

品物の期限を確かめてる人がいると「見なくてみんな同じだ」なんて、春一さんに言われたりして、村の人も店を覗いて春一さんがいると入らなかつたりしてね(笑)

春一さんはズケズケものを言つて口は悪いけど腹は悪い人じゃなかった。

私が旅行に出る時、「タクシー頼むなら乗せてってやる」と言つて送ってくれた事もあったよ。

あの頃、柳古新田・今町新田・海土ヶ島新田で「三楽会」って言う老人会をつくっていたんだけど、キ



クイさん達はお店をやっているからなかなか老人会の旅行には行けなかつたと思う。

たまに村の人達と湯咲荘に行つたりして、村の人がキクイさんにちよつと気に障る事を言つても別に苦にしない、朗らかで優しい人だったよ。編み物が好きで、お店の座布団カバーやコタツカバーを全部編んで、買物に来た人に煮物や漬物をふるまつてお茶のみしていた。

キクイさんとは鈴懸で最初から一緒に滝沢エミカさんに誘われたの。72〜73歳の頃だったかな? キクイさんは店番の合間に畑もやっていたんだけど、ある日そこで倒

れた(脳梗塞)のを村の人が見つけてくれた。身体が不自由になってお店を続けることが難しくなっていた。「鈴懸」に入ることにしたんじゃないかな。入った頃はまだ歩行器で歩けたし、春一さんが腕を取って歩いていったこともあった。そのうち車椅子になったけど夫婦でよく池田美術館にコーヒーを飲みに行っていたよね。

最初からの仲間は、もう私と青木ヨシノさんだけになってしまった。キクイさんがいなくなって寂しくなって泣いちゃった。青木さんが泣かないで頑張ろうと言ってくれた。私も去年から車椅子になつてこの先どうなるかわからないけど、キクイさんみたいに強生きさよと思うている。

(聞き書き 桑原千秋)

## 「思い出をありがとう」

### 鈴懸おはようヘルプ

職員 平本恵子

田辺キクイさんは、ケアハウス鈴懸開設以来の入居者さんで、私がケアハウスで働き始めた当時は、夫と二人で生活されていました。

ご実家が私と同郷だったので、気にかけてもらいました。

そして、この時季になると思いだすのは、上着のポケットからそつと、夫が拾ってきた栗を出して「栗ご飯にすると、うんまいよ」と、三粒ほど頂き、作り方を教えてもらったことです。

あれから十有余年。この間に夫が他界し、数年間はお一人の生活でした。「長く生きた」と、しみじみ語ることもありました。感極まる顔をクシヤクシヤにして涙することもありました。

色々と思ひ出はありますが、去る8月22日に97年の生涯の幕を閉じられました。長年連れ添った夫と、また出会えたことでしょう。

キクイさん思ひ出をありがとうございます。謹んで哀悼の意を表します。



## 米寿のお祝い

### ケアハウス鈴懸

職員 駒井富美子

10月13日、昼食を兼ねて、米寿のお祝いを行いました。

今年ホテル坂戸城さんの紹介で、歌手の麻生けい子さんをお招きしました。

皆さんにはとても喜んでいただき、楽しい時間を過ごすことができました。



阿部房江さん

鈴木トシさん

高野義郎さん

勝又千代ノさん

米寿を迎えた皆さま、おめでとうございました。



# 秩子の部屋



## 「種村道子さん」

私は80歳で、ここ鈴懸に入居し、今90歳です。

私が生まれて3か月で母が、病気で亡くなってしまいました。

それから、お乳をくれる人の家に預けられて、4歳まで過ごし、父と新しい母のいる家に戻ってきました。新しい母の子どもがたくさん出来て、私は5歳の時に父の両親、つまり私の祖父母の家に姉と2人で預けられ、育ててもらいました。

祖父は新潟師範の2期生で、小学校の教師をしていました。

人はみんな「大きくなったら何になる」とか言っていたけど、私なんかそれどころではなかった。

母と2つ違いの妹にいじめられないようにと、そのことで頭がいっぱいでした。

その妹が中2の時に病気で亡くなってしまつて、それから、母からのいじめがひどくなりました。

高等部を卒業してから、長岡の家政女学校に行き、卒業してから、紡績に行くと言ったら、そんなことは許せないとわれ、母親とはそれっきり「縁」を切りました。

19歳の時です。

Q お父さんはどうしていたの？

A 父からは忘れられていました。私が存在すること自体を。

私が母のおなかにいるとき、母が病気になるって、生まれてきてからなくなつたのですが「今だから、母の命を助けるために中絶することでもできたはず。お前なんかいなくてよかつた」と言われました。

母は、芹田の青木恒太郎という国会議員をしていたような家か

ら、堀之内に嫁にきました。

Q 結婚はどうしました？

A 六日町に叔父(父の弟)がいて、鉄道に勤めていました。叔父の家に泊まつていた財務事務所への紹介で、25歳の時に結婚しました。その人は県の職員で、六日町財務事務所勤めていました。ところが35歳の時に事故で亡くなつてしまいました。それから私は城内の学校の給食婦になりました。

Q その時、子どもさんは？

A 3人いました。

3歳、5歳、小2です。

Q 大変だったのね、あなたが1人で3人育てたわけ？

A 主人の両親が一緒にいましたから、子どもたちはかぎっ子にはならなかつたのです。

それから、主人の父は大阪で焼け出されて魚沼に戻ってきて、八海山の開拓をやりました。だから結構土地があつたので助かりました。

Q 今はその子どもたちは？

A 1番上の女の子は結婚して千葉にいます。年子で生まれた長

男は、大学に行つて埼玉に住んでいます。

2人の子どもはそれぞれ結婚しています。3番目の女の子は、専門学校を出て、埼玉に住んでいます。

Q ひ孫がいるのかしら？

A 今は2人ですが、もうすぐ4人になります。楽しみです。

## 後援会入会案内

日頃より社会福祉法人「桐鈴会」をご支援いただき誠にありがとうございます。

是非とも皆様からのご理解・ご協力を賜り、今後とも地域に根付いた社会福祉法人として頑張っていきたいと思っております。(後援会費は主に建物修繕・入居者、利用者の福祉用品等に充てられます。)  
入会できる方は是非ご連絡ください。(途中での退会もできます。)

## 桐鈴会からのお知らせ

△後援会年会費▽

法人：一口 一万円

個人：一口 二千元

連絡先：ケアハウス鈴懸

〒949-7302

新潟県南魚沼市

浦佐5142-1

☎025-780-4118

# 桐の花 敬老会

グループホーム桐の花

管理者 小川明子

桐の花は現在、98歳から75歳、平均年齢89歳の9名が暮らしています。高齢者の施設ですので、敬老会は大変なイベントです。敬老の日よりちょっと早めの9月11日(日)に敬老会を開催しました。

豪華弁当、おやつは紅白大福。催しは毎年恒例となっている津軽三味線の演奏会です。

奏者は以前、桐の花に勤務されていた関勝造さん。勝造さんはお弟子さんを持つ腕前です。一緒に来られる奥様は三味線に合わせ民謡を歌って下さいます。生の三味線演奏を聞く機会はあまりないので、いつも



祝 祝



お世話になっていているボランティアさんをお誘いしました。演目は入居者さんも一緒に歌えるものを選曲して下さり、みんなで大合唱です。お六甚句では職員も飛び入りで踊り、場を盛り上げました。一芸をお持ちの方、ぜひ披露しに来て下さい。



農家を継いだ女性が4世代9人の家族のうち6人を見送り、**文芸社** ひとりになった今思う事は？

「六人の家族を看取る」そして私は一人で生きる **森山里子** (もりやまさとこ)

価格: 1,100円 判型: 四六並 ページ数: 152ページ [ご注文はケアハウス鈴懸へ](#)

学生運動に揺れた大学生時代を東京で過ごしたあと、郷里に帰り、家を継いだ女性。3人の子育てをしながら仕事を続ける。大家族に見守られ、自宅で看取った祖父母。ホスピスで共に過ごした夫の最期の日々。突然の事故でこの世を去った息子。認知症となった両親の介護に一人で奮闘した8年間。農家を継いだ女性が4世代9人の家族のうち、6人を見送った。ひとりになった今の心境とは――。



# 桐鈴画廊

桐鈴会が運営する各施設をご利用いただいている皆様の活躍・活動をお知らせします。皆さんの新しい側面を再発見してみてください。

ひとつのことはでけんがいて  
 ひとつのことはでなかなあり  
 ひとつのことはで頭が下がリ  
 ひとつのことはで心が痛む  
 ひとつのことはで楽しく笑い  
 ひとつのことはで泣かされる  
 ひとつのことははそれぞれに  
 ひとつのことは持っている  
 きれいなことはきれいな心  
 やさしいことはやさしい心  
 ひとつのことは大切に  
 ひとつのことは美しく

作 工房とんとん 高野美代子

## 編集後記

黄丹(おうに)が我が家に来て1年経ちました。家に来たときは8グラムだった体重が今では138グラム。

うどん程の太さだった体も、今では親指位の太さに。いつか飲み込まれてしまうのではないかとドキドキしながら餌やりをしています。

久しぶりに黄丹が置かれていた店に行くと、黄丹と同じ月に生まれた蛇を見かけました。体の大きさも太さも黄丹よりとても小さく、自分は餌をあげ過ぎていたのではないかと心配です。

とはいえ、蛇の成長についてはまだ分からない事が沢山なので、寿命が尽きる日まで一緒に過ごしたいと思います。

(工房とんとん 原澤 綾)



暗がりでおおろぎの鳴く閑さよ  
 きこの飯戸口開けば匂ひたつ

山田ヒサ子

蜩の鳴く音の僻森深し  
 連れと来てぶなの林の茸取り

井上信吉

公園に子等の声する秋はじめ  
 キヤタピラの車検も済みて去年今年

関 薫司

名月を真綿ぐるみで届けたし  
 友の友が採りしきのこを貰いけり

関 勝美

厨の灯消して※ちちろに譲りけり  
 コスモス園種盗人をせしことも  
※「ちちろ」は「ちちろ虫」こおろぎ

種村道子

うたたねの頬にやさしき秋の風  
 ゆらゆらと紅葉も浸る露天風呂

山岸トヨ